

# **intra-mart WebPlatform/AppFramework**

## **Ver.7.2**

---

---

**クライアント通知 設定ガイド**

**2013/07/05 第2版**

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2010/04/01	初版
2013/07/05	第2版「5.3クライアント通知のアクセス権設定」を追加しました。





## &lt;&lt; 目次 &gt;&gt;

1	はじめに.....	1
1.1	用語解説.....	1
2	クライアント通知機能.....	2
2.1.1	通知機能.....	2
2.1.2	ポータル表示機能.....	3
2.1.3	パスワード変更機能.....	3
3	環境定義ファイル.....	4
3.1	パスワード有効期限切れ事前通知機能.....	4
3.1.1	設定.....	4
3.1.2	カスタマイズ可能項目.....	4
3.2	ワークフローの新着タスク通知.....	6
3.2.1	設定.....	6
3.2.2	カスタマイズ可能項目.....	6
4	クライアント配布用ダウンロードファイル.....	7
4.1	クライアント配布用ファイルの構成.....	7
4.2	初期環境設定ファイル.....	7
4.2.1	要素階層.....	8
4.3	クライアント配布用ダウンロードファイルの変更.....	11
4.3.1	クライアント配布用ファイルの作成.....	11
4.3.2	クライアント配布用ファイルの配置.....	11
4.3.3	ダウンロードサイトのダウンロードリンクの変更.....	11
5	参考.....	12
5.1	サーバサイドメッセージ一覧.....	12
5.2	クライアントサイドメッセージ一覧.....	13
5.3	クライアント通知のアクセス権設定.....	13



# 1 はじめに

本ドキュメントは、intra-mart WebPlatform/AppFramework のクライアント通知機能に関する設定手引書です。  
クライアント通知の機能と種類ならびに、各種設定について解説します。

## 1.1 用語解説

intra-mart WebPlatform/AppFrameWork	以下、iWP/iAF と略します。
intra-mart Server Manager	システム全体を管理するサーバです。 以下、本サーバのインストールディレクトリを<% <b>imSM</b> %>と略します。
Resource Service	intra-mart システムの動作に必要な各プレゼンテーションページ、ファンクションコンテナのソースを管理し、Application Runtime に対して必要なプログラムを配布するサービスです。 以下、Resource Service をインストールしたディレクトリを<% <b>Resource Service</b> %>と略します。
Storage Service	ファイルを管理するサービスです。 以下、Storage Service をインストールしたディレクトリを<% <b>Storage Service</b> %>と略します。

## 2 クライアント通知機能

クライアント通知機能で実現する機能を以下に示します。

項番	機能名	説明
1	通知機能	通知する間隔の時間内で受信した新着通知／事前通知の件数を通知します。
2	ポータル表示機能	Web ブラウザを起動して intra-mart を表示します。
3	パスワード変更機能	接続先ユーザのパスワードを変更します。

### 2.1.1 通知機能

通知する間隔の時間内で受信した新着通知／事前通知の件数を通知します。

次の通知方法を提供します。

- タスクトレイアイコンの点滅
- バルーンチップの表示
- 通知ダイアログの表示
- メイン画面の通知一覧に出力

#### 2.1.1.1 新着通知機能

新着通知機能として以下の機能を提供します。

- ワークフローの新着タスク  
通知する間隔の時間内で受信したワークフロータスクの件数を通知します。  
通知する間隔の時間内で処理済となったワークフロータスクは通知対象外となります。  
通知で表示する最大件数は `bpw.ini` のページ内表示件数で設定した値とします。

#### 2.1.1.2 事前通知機能

事前通知機能として以下の機能を提供します。

- パスワード有効期限切れ事前通知  
パスワードの有効期限切れが近いことを通知します。  
有効期限切れの判断は、通知する間隔の時間内の日時から利用者が設定した日数を差し引いた時間内の日時でパスワードの有効期限が切れている場合とします。



### 2.1.2 ポータル表示機能

Web ブラウザを起動して、intra-mart の以下の画面を表示します。

- 自動認証の設定がない場合  
ログイン画面を表示
- 自動認証の設定がある場合  
ホーム画面を表示

### 2.1.3 パスワード変更機能

環境設定のサーバ接続で接続先ユーザに設定した intra-mart アカウントのパスワードを変更します。  
また、環境設定の接続先の intra-mart のパスワードも同時に変更します。

## 3 環境定義ファイル

クライアント通知機能では、アプリケーション単位で環境定義ファイルを定義しています。各定義ファイルで設定している項目内のいくつかはカスタマイズが可能です。

### 3.1 パスワード有効期限切れ事前通知機能

環境定義ファイルは、`<%imSM%>/conf/client_notice/client_notice.xml` です。

#### 3.1.1 設定

初期状態の設定値を以下に示します。

```
<client-notice>
  <notice id="iwp-reports-password-limit" kind="reports" output="date" sort-key="1" required="true">
    <display-string locale="ja">
      <application-name>システム</application-name>
      <notice-name>パスワード有効期限切れ事前通知</notice-name>
    </display-string>
    <provider kind="javaee">jp.co.intra_mart.foundation.client_notice.NoticeReportsLimitPassword</provider>
    <control unit-sec="86400">
      <spin-edit>
        <min>1</min>
        <max>30</max>
        <increment>1</increment>
        <default>7</default>
      </spin-edit>
      <display-string locale="ja">
        <unit>日前</unit>
      </display-string>
    </control>
  </notice>
</client-notice>
```

< client\_notice.xml >

#### 3.1.2 カスタマイズ可能項目

カスタマイズが可能な要素または属性を以下に示します。

※下記以外の項目はシステムで使用する為のものです。内容を変更した場合には正常に動作しなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

##### ■ client-notice 要素

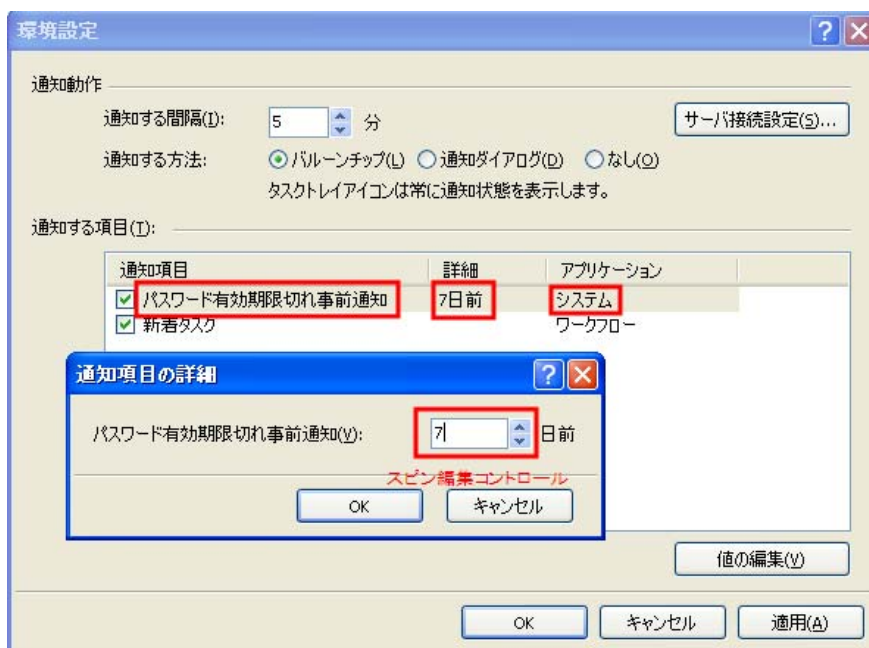
項番	要素	特徴
1	notice	通知項目に関する情報を設定します。
		<b>required</b> 属性: 通知項目の通知を行うか否かを設定します。 true                    通知項目の通知を行います。 false                    通知項目の通知を行いません。
		<b>sort-key</b> 属性: クライアントで表示する通知項目の並び順を設定します。

## ■ notice 要素

項番	要素	特徴
1	display-string	通知項目の文字列を設定します。 <b>application-name</b> 通知項目のアプリケーション名を設定します。 <b>notice-name</b> 通知項目の項目名を設定します。 <b>locale</b> 属性: 文字列のロケールを設定します。 ja 日本語
2	control	<b>unit-sec</b> 属性: 詳細属性の単位あたりの秒数を設定します。

## ■ control 要素

項番	要素	特徴
1	spin-edit	通知項目に関する情報を設定します。 <b>min</b> スピン編集コントロールの最小値を設定します。 <b>max</b> スピン編集コントロールの最大値を設定します。 <b>increment</b> スピン編集コントロールのインCREMENT値を設定します。 <b>default</b> スピン編集コントロールの初期値を設定します。
2	display-string	環境設定画面の通知項目に表示される文字列を設定します。 <b>unit</b> 通知項目の詳細画面に表示する単位を設定します。 <b>locale</b> 属性: 文字列のロケールを設定します。 ja 日本語



<環境設定画面(初期状態の設定値が反映している状態)>

## 3.2 ワークフローの新着タスク通知

環境定義ファイルは、<%imSM%>/conf/client\_notice/client\_notice\_bpw.xml です。

### 3.2.1 設定

初期状態の設定値を以下に示します。

```
<client-notice>
  <notice id="iwp-newly-task" kind="newly" output="time" sort-key="4" required="true">
    <display-string locale="ja">
      <application-name>ワークフロー</application-name>
      <notice-name>新着タスク</notice-name>
    </display-string>
    <provider kind="javaee">jp.co.intra_mart.foundation.client_notice.NoticeNewlyWorkFlowTask</provider>
  </notice>
</client-notice>
```

< client\_notice\_bpw.xml >

### 3.2.2 カスタマイズ可能項目

カスタマイズが可能な要素または属性を以下に示します。

※下記以外の項目はシステムで使用する為のものです。内容を変更した場合には正常に動作しなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

#### ■ client-notice 要素

項番	要素	特徴
1	notice	通知項目に関する情報を設定します。
		<b>required</b> 属性: 通知項目の通知を行うか否かを設定します。 true                   通知項目の通知を行います。 false                   通知項目の通知を行いません。
		<b>sort-key</b> 属性: クライアントで表示する通知項目の並び順を設定します。

#### ■ notice 要素

項番	要素	特徴
1	display-string	環境設定画面の通知項目に表示される文字列を設定します。 <b>application-name</b> 通知項目のアプリケーション名を設定します。 <b>notice-name</b> 通知項目の項目名を設定します。
		<b>locale</b> 属性: 文字列のロケールを設定します。 ja                       日本語

## 4 クライアント配布用ダウンロードファイル

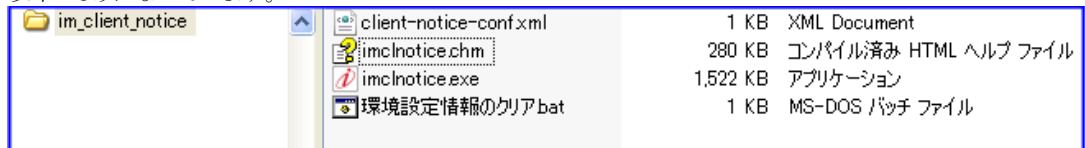
intra-mart 標準ではクライアントに配布するダウンロードファイルはユーザ画面[クライアント通知]-[モジュールのダウンロード]よりダウンロードすることができますが、このファイルの内容をお使いの環境に合わせて、カスタマイズすることが可能です。

### 4.1 クライアント配布用ファイルの構成

クライアント配布用ファイルは以下にあります。

<%Storage Service%>client\_notice/im\_client\_notice.exe

「im\_client\_notice.exe」を実行すると、「im\_client\_notice」フォルダが作成されます。フォルダのディレクトリ構成は以下のようになっています。



<im\_client\_notice フォルダのディレクトリ構成>

client-notice-conf.xml	初期環境設定ファイル
imclnotice.chm	クライアント通知機能の操作マニュアル
imclnotice.exe	クライアント通知の起動ファイル
環境設定情報のクリア.bat	クライアント側のレジストリ削除バッチ

### 4.2 初期環境設定ファイル

各クライアントがクライアント通知のインストール後に初期状態で表示される初期環境設定値を保持するファイルです。

初期状態の設定値を以下に示します。

```
<client-notice>
  <connection>
    <connection-url>http://xxxxx:8080/imart/services/ClientNoticeService</connection-url>
    <timeout>5</timeout>
    <proxy required="false">
      <server-name></server-name>
      <port-no></port-no>
    </proxy>
    <group-id>default</group-id>
  </connection>
  <show-portal>
    <intra-mart-url>http://xxxxx:8080/imart/default.portal</intra-mart-url>
    <auto-login>false</auto-login>
  </show-portal>
  <notice-conf>
    <request-interval>5</request-interval>
    <notice-means>balloon</notice-means>
  </notice-conf>
</client-notice>
```

< client-notice-conf.xml >

初期状態の設定のままユーザがクライアント通知インストール後にクライアント通知を初回起動した場合の画面を以下に示します。

#### 4.2.1 要素階層

以下にクライアント初期環境の要素階層を示します。

client-notice	
└ connection	クライアント通知Webサービスの接続情報
├ └ connection-url	クライアント通知Webサービスの接続先URL
├ └ timeout	クライアント通知Webサービスのタイムアウト
├ └ proxy	プロキシサーバ情報
├ └ └ └ (required)	(プロキシサーバの有無)
├ └ └ server-name	プロキシサーバのサーバ名
├ └ └ port-no	プロキシサーバのポート番号
├ └ group-id	クライアント通知WebサービスのグループID
└ show-portal	ポータル表示情報
├ └ intra-mart-url	intra-mart URL
├ └ auto-login	自動認証の有無
└ notice-conf	通知情報
├ └ request-interval	通知間隔
├ └ notice-means	通知方法

### 4.2.1.1 構成要素

#### 4.2.1.1.1 client-notice

クライアント環境の初期値を設定します。

項番	要素	説明
1	connection	クライアント通知 Web サービスの接続情報に関する初期値を設定します。 詳細は「4.2.1.1.2 connection」参照。
2	show-portal	ポータル表示機能に関する初期値を設定します。 詳細は「4.2.1.1.4 show-portal」参照。
3	Notice-conf	通知情報の要求間隔や通知方法に関する初期値を設定します。 詳細は「4.2.1.1.5 notice-conf」参照。

#### 4.2.1.1.2 connection

クライアント通知 Web サービスの接続情報に関する初期値を設定します。

項番	要素	説明
1	connection-url	クライアント通知 Web サービスの接続先 URL を設定する。 書式: http://サーバ名:ポート番号/imart/services/ClientNoticeService
2	timeout	クライアント通知 Web サービス呼び出しのタイムアウト値を設定する。 (単位:分) 最小値 1 最大値 60
3	proxy	プロキシ接続情報に関する初期値を設定する。 詳細は「4.2.1.1.3 proxy」参照。
		required 属性:プロキシ接続の使用可否を設定する。 true プロキシ接続を使用する。 false プロキシ接続を使用しない。
4	group-id	クライアント通知 Web サービスのグループ ID を設定する。

#### 4.2.1.1.3 proxy

プロキシ接続情報に関する初期値を設定します。

項番	要素	説明
1	server-name	プロキシサーバのサーバ名または IP アドレスを設定します。
2	port-no	プロキシサーバのポート番号を設定します。

## 4.2.1.1.4 show-portal

ポータル表示機能に関する初期値を設定します。

項番	要素	説明
1	intra-mart-url	クライアントアプリケーションからポータル表示を実行した場合に表示します。 intra-mart の URL を設定します。 書式: http://サーバ名:ポート番号/imart/グループ ID.portal
2	auto-login	クライアントアプリケーションからポータル表示を実行した場合に自動認証を行うか否かを設定します。  true           intra-mart の自動認証を行います。 false          intra-mart の自動認証を行いません。

## 4.2.1.1.5 notice-conf

通知情報の要求間隔や通知方法に関する初期値を設定します。

項番	要素	説明
1	request-interval	通知情報をサーバに要求する間隔を設定します。(単位:分)  最小値        3 最大値        60
2	notice-means	受信した通知情報のポップアップ表示を行うか否かを設定します。  none          ポップアップ表示を行います。 balloon       バルーンチップを表示します。 dialog        通知ダイアログを表示します。



## 4.3 クライアント配布用ダウンロードファイルの変更

クライアントアプリケーション・ヘルプ・環境設定情報に変更がある場合、ダウンロード用ファイルを再作成する必要があります。ダウンロード用ファイルの変更は、以下の手順で行います。

- (1) クライアント配布用ファイルの作成
- (2) クライアント配布用ファイルの配置
- (3) ダウンロードサイトのダウンロードリンクの変更

### 4.3.1 クライアント配布用ファイルの作成

ダウンロードページからダウンロードするファイルの内容に変更がある場合、以下の手順にてファイルを作成します。変更がない場合は再作成する必要はありません。

- (1) ファイル作成用ディレクトリに、以下のファイルをコピーします。
  - imclnotice.exe
  - imclnotice.chm
  - client-notice-conf.xml
  - 環境設定情報のクリア.bat
- (2) ディレクトリ内のファイルをすべて選択し、zip ファイルを作成します。  
このときの zip ファイルは「im-client-notice.zip」とします。
- (3) ダウンロード用ファイルを自己解凍形式にする場合は、任意のアーカイブユーティリティまたは WindowsXP に付属する「iexpress」等を利用して、自己解凍形式の圧縮ファイルを作成します。

### 4.3.2 クライアント配布用ファイルの配置

クライアント配布用ファイルを作成し直した場合、作成したファイルを以下ディレクトリにコピーします。  
<%Storage Service%/client\_notice ディレクトリ

### 4.3.3 ダウンロードサイトのダウンロードリンクの変更

クライアント配布用ファイル再作成を行った結果「ファイル名」に変更がある場合、以下のファイルを修正してください。

<%Resource Service%/platform/src/client-notice/client-notice.ini

以下の値を適切な内容に変更します。

client_module_name	ファイル名	初期値: im_client_notice.exe
--------------------	-------	---------------------------

## 5 参考

### 5.1 サーバサイドメッセージ一覧

項番	メッセージ	
1	メッセージ	クライアント通知の環境定義がありません。
	発生原因	クライアント通知の環境定義ファイルが存在しないか読み込みできない場合に発生する。
	対応方法	環境定義ファイルを作成するか読み込みできない原因を排除してサーバを再起動する。
2	メッセージ	クライアント通知の環境定義が不正です。[詳細コード:詳細コード]
	発生原因	クライアント通知の環境定義に誤りがある場合に発生する。
	対応方法	<p>詳細コードの原因を排除してサーバを再起動する。</p> <p>001:通知項目情報の通知項目 ID 属性がない</p> <p>002:通知項目情報の種類属性がない</p> <p>003:通知項目情報の種類属性の設定値が newly または reports 以外</p> <p>004:通知項目情報の出力区分属性がない</p> <p>005:通知項目情報の出力区分属性の設定値が date または time 以外</p> <p>006:通知項目情報のソートキー属性の設定値が整数以外</p> <p>007:通知項目情報の文字列情報がない</p> <p>008:通知項目情報の文字列情報にロケール属性がない</p> <p>009:通知項目情報の文字列情報にアプリケーション名がない</p> <p>010:通知項目情報の文字列情報に通知項目名がない</p> <p>011:通知項目情報のプロバイダ情報がない</p> <p>012:プロバイダ情報に種類属性がない</p> <p>013:プロバイダ情報の種類属性の設定値が javaee または script 以外</p> <p>014:詳細コントロール情報の単位あたり秒数属性が整数以外</p> <p>015:詳細コントロール情報の単位あたり秒数属性が 0 以下</p> <p>016:詳細コントロール情報のスピン編集コントロール情報がない</p> <p>017:スピン編集コントロール情報の最小値が整数以外</p> <p>018:スピン編集コントロール情報の最大値が整数以外</p> <p>019:スピン編集コントロール情報の増分値が整数以外</p> <p>020:スピン編集コントロール情報の初期値が整数以外</p> <p>021:スピン編集コントロール情報の最大値が最小値より小さい</p> <p>022:スピン編集コントロール情報の初期値が最小値より小さい</p> <p>023:スピン編集コントロール情報の初期値が最大値より大きい</p> <p>024:スピン編集コントロール情報の増分値が最大値より大きい</p> <p>025:詳細コントロール情報の文字列情報にロケール属性がない</p> <p>026:詳細コントロール情報の文字列情報に単位がない</p>
3	メッセージ	アカウントが存在しません。
	発生原因	クライアント通知サービスのパラメタで指定したユーザIDのアカウントが存在しない場合に発生する。
	対応方法	存在するアカウントのユーザIDを指定する。

項番	メッセージ	
4	メッセージ	変更前のパスワードが一致しません。
	発生原因	クライアント通知サービスのパスワード変更機能のパラメタで指定した変更前パスワードが現在のパスワードと一致しない場合に発生する。
	対応方法	現在のパスワードと一致するパスワードを指定する。
5	メッセージ	前回要求日時が不正です。
	発生原因	通知情報取得処理の前回要求日時が不正な場合に発生する。通常は発生しない。
	対応方法	前回要求日時に正しい日付を指定する。

## 5.2 クライアントサイドメッセージ一覧

クライアント通知機能の操作マニュアル「imclnotice.chm」の 4.1 メッセージ一覧をご参照ください。

## 5.3 クライアント通知のアクセス権設定

クライアント通知機能は、iWP/iAF の Web サービス「ClientNoticeService」を利用しており、各ユーザへのアクセス権を設定するには「Web サービスアクセス設定」を行う必要があります。以下の各オペレーションにそれぞれアクセス権の設定を行います。

項番	オペレーション	説明
1	ClientNoticeService - changePassword	intra-mart ユーザのパスワードを変更する。
2	ClientNoticeService - getEnv	クライアント通知サーバ環境定義を取得する。
3	ClientNoticeService - getNewlyNotice	新着通知／事前通知情報を取得する。
4	ClientNoticeService - isConnected	サーバの接続確認を行う。

また、「Web サービスアクセス設定」の手順については「グループ管理者 操作ガイド」をご参照ください。

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver. 7.2  
クライアント通知 設定ガイド

2013/07/05 第2版

Copyright 2000-2013 株式会社NTTデータ イントラマート  
All rights Reserved.

TEL: 03-5549-2821

FAX: 03-5549-2816

E-MAIL: info@intra-mart.jp

URL: <http://www.intra-mart.jp/>